

俳句

〔天和俳句愛好会〕

青嵐止んで清しや工事音 田中はついで
 水無月や明けて大きく窓の月 古橋 益子
 あちさるや寺に孔雀の放し飼ひ 鈴木 つぎ
 竹の子の土もたげたる風柔し 皆川 和子
 椎大樹芽吹き豊かな我浄土 安達 幸子
 雨引山彩極まりし七変化 岩瀬のぶ子
 里山の中のふるさと山笑う 代田 とし

短歌

〔花の室 木崎集〕

泳ぎあるだあれも触れぬがセシウムやストロ
 ンチウムも混じつてゐるだろ 塚田 沙玲
 寄り添えば寄り添ってくるへ大極の体をなで
 てじんわりしみる 石浜 今日子
 オカリナの音色かなでるかえるの子「昴」広
 がる田園の中 大久保まさ子
 庭に咲く日光キスゲ色冴えて一日花のさだめ
 惜しみぬ 櫻井ハル子

息災を祈りてすする七草粥椀のぬくみが五体
 を包む 五月女静江

二十日余を経ても帰らぬ伺ひ猫の名を呼びな
 がら今日も探す 大関にち子

若者はたすきに母校の誇り秘め箱根の山を今
 駆け抜ける 浜野和 操

〔岩瀬萩歌会〕

そよ風の渡りそめたる水張田苗に染まりて加
 波山うつす 大関 節子

大樺若葉そよぎて蔭散らすこの木に生き来し
 歳月思ふ 安達 悦子

のどかなる若葉の丘に友と立ち加波の嶺染め
 る山桜ばな 安達すみ子

春の雨嵐となりて花うばうしだれ桜の雫かな
 しき 角田 玉枝

ゆるやかな一丘染めてネモフィラの空に溶け
 合ふ海浜公園 坪井ゆき子

葉桜の朝風のなかりハビりに歩行の良くなる
 を願ひて夫は 長谷川玲子

枯葉敷く庭にひつそり春の雨咲き満つ水仙を
 ぬらして通る 石川 喜代



〔岩瀬短歌会〕

黄昏のいづれが先と決めかねて二通り書くエ
 ンディングノート 小林美瑛子

久方の天のめぐみか南天の葉先の雫いと美しき
 泉 三郎

無人駅に線路の光る黄昏を人の影なき列車の
 とまる 岡野 禮子

寡黙なる夫へ温とき茶を入れて以心伝心つね
 なる朝 渡辺しな子

まなうらの空に泳がす鯉のぼりはつかにひび
 く幼らのこゑ 深谷 快子

祇園祭四条河原に一口のビールを含む人恋し
 さに 野村 幸男

母の胸にすずらん置きし日めぐり来て一つ一
 つの想い出しまう 西岡 和子

雨引小葉さくら色濃くどっしりと校庭を囲み
 子らを見守る 塚本 幸子

青葉蔭飛び交ふ鳥の影移り夏うぐひすの姿確
 かに 鈴木 とみ

貧しさに医師にも診せず逝きし子とお河童な
 でたる菊ちゃん之母 塩谷 明子

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

■サイズ 1枠45mm×85mm、2枠45mm×172mm
 ■掲載料 1枠10,000円、2枠20,000円
 (月額) ※連続掲載で割引制度があります。

■問合先 秘書広報課 ☎58-5111・75-3111、内線1268

6月25日(火)
 市長と語ろう「市政懇談会」

■時間 / 14時～16時
 ■場所 / 岩瀬中央公民館 大ホール
 ■問合せ・申込先
 秘書広報課 (☎58-5111・75-3111代表)